

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	奈良県	市町村名	野迫川村
-------	-----	------	------

プロジェクト名	「のせがわ村魅力発信！」プロジェクト	新規・継続の区分	継続
---------	--------------------	----------	----

プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 過疎化・高齢化が進み衰退していく村の活性化を図ることを目的として、村民が主となって野迫川村の様々な魅力や資源を再発見し、特産品の製造販売、観光情報として発信するとともに情報網の整備を行い、都市との交流や若者定住を図る。得意分野を活かして村民が「山の達人」「郷土料理の達人」等の達人等となり、村内外の人々に体験講座を行ったり、世界遺産熊野参詣道小辺路を案内することにより野迫川村の魅力を伝える。これら野迫川村の宝である自然や人をDVDや写真に記録し、観光情報としてインターネットやケーブルテレビ、携帯電話等の通信網にて発信するとともに観光パンフレットや村の紹介冊子、イメージソングのCDを作成して情報を発信する。また、情報通信網整備を行い、都市部との情報格差を是正することにより、都市との交流、観光客の増加、若者の定住促進を図る。一方で、このままでは、村が消滅するという危機感のもと基幹産業である林業や農地の存続に努力する。</p> <p>(具体的な成果目標) 観光客： 宿泊客 平成18年度 6,700人 → 平成24年度 9,200人 (2,500人増) 日帰り客 平成18年度 151,200人 → 平成24年度 155,200人 (4,000人増) 若者定住 6人増(6年間) 平成19年度 宿泊客6,750人(50人増) 日帰り客151,500人(300人増) 若者定住0人 平成20年度 宿泊客7,000人(250人増) 日帰り客152,050人(550人増) 若者定住 2人</p>		
------------------------	--	--	--

プロジェクトの期間	h19～h24	政策分野の分類 (①～⑩)	⑥観光振興・交流プロジェクト
-----------	---------	------------------	----------------

住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	インターネットホームページ http://www.vill.nosegawa.nara.jp/village_info/village_06.html
-------------------------	---

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)
世界遺産「熊野参詣道小辺路」語り部養成事業	本村南部を通る「熊野参詣道小辺路」が、平成16年7月に世界遺産登録され、年々観光客、登山客が増加している。現在、本村には「熊野参詣道小辺路」を案内できる語り部の人数が少なく、また、高齢者が多いため、観光客、登山客のニーズに十分応えられていないのが実情である。より多くの観光客、登山客に世界遺産「熊野参詣道小辺路」の魅力を堪能していただくべく、語り部養成講座を開催して、若年層の語り部を増員することにより、観光客、登山客の増加を図る。	1,869
		(869)
出前郷土料理教室	近年、生活様式の多様化、家族構成の核家族化などにより、日本の食文化に大きな変化がもたらされている。平成17年に食育基本法が施行され、様々な方面から「食育」への取り組みがなされている。このようななか、野迫川村では、豊かな自然や厳しい冬を越すための保存の技術を巧みに取り入れた郷土料理が、先人から何代にも渡って受け継がれている。野迫川村の素朴で愛情たっぷりの郷土料理を通じて、家族の絆、あり方を考え、自然の恵みのすばらしさを紹介する郷土料理教室を開催し、村民と都市の人がいっしょに料理を作ることにより、都市との交流、観光情報の発信を図る。本村の地理的条件上、大阪市、奈良市等都市部から公共交通機関を利用して日帰りで村を訪れることは、時間的に困難であり、郷土料理教室を開催しても参加しにくい状況であることから、参加しやすい大阪市等に村民が出向いて、郷土料理教室を開催する。	4,000
		(1,000)

林業研究プロジェクト	本村の基幹産業は林業であるが、低迷が続き林業労働者の高齢化が進むなど林業を取り囲む環境は大変厳しい。森林は、国土の保全、水源涵養、地球温暖化の防止など国民生活や国民経済の安定に重要な役割を果たしている。現在の状況が続くと林業は衰退し山村は消滅する。林業の活性化のために「野迫川村林業研究プロジェクトチーム」を立ち上げて、国や県等の関係機関との連携を深めながら林業の振興に取り組む。林業の村としてさまざまな取り組みを行い、村の活性化を図る。	8,000
		(4,000)
物産品販売所設置事業	野迫川村の特産品であり、観光客のニーズの高い高原野菜や林産物、わさびやあまご等の販売場所が少ないため、交通量の多い道路脇に間伐材を利用した木造の特産品販売所を建設し、間伐材の利用促進を図るとともに村の特産品や高原野菜の販売促進を図る。また、都会に住む会員に定期的(年4回)に特産品を送付する都会のむらびと制度を実施する。	7,000
		(2,500)
ケーブルテレビ・ブロードバンド整備事業	現在、共聴施設によりアナログ放送を受信しているが、村の半数の地域が、UHF放送(奈良放送・NHKのUHF)が受信できない。また、インターネットは、ISDN回線しか利用できないなど大変不便な生活を強いられている。一方、2011年までに地上デジタル放送への対応が必要であり、同時に情報化時代の今日においてブロードバンドへの対応が急務である。都市部では、通信事業者がこれらの整備を行ってくれるが、本村のよう過疎地では、村が整備をしなければならないのが現状である。都市部との情報格差是正のため情報網(光ファイバ網とCATV網)を全戸に整備し、都市との交流、観光情報の発信、若者の定住促進を図る。	363,945
		(363,945)
移動通信用鉄塔施設整備事業	携帯電話は、災害時の緊急連絡をはじめとして生活に欠かせない必需品となっているが、山間地域においては、採算がとれないということから不感地帯が多く残っている。特に本村においては、村の80%の地域が不感地帯であるが、今後も通信事業者独自の移動用通信鉄塔整備は期待できないため、村において整備を行い情報格差の解消と観光客の増加、若者の定住促進を図る。	112,310
		(78,710)
野迫川の歌CD作成事業	野迫川村のイメージソング「心の祭」のCDを作成して、村内外のイベントや物産展等に配付することにより、野迫川村のPRし観光の促進を図る。	2,205
		(2,205)
観光パンフレット・村紹介冊子作成事業	村の宝物である大自然や人(山の達人や郷土料理の達人等)、世界遺産熊野参詣道小辺路等を掲載した村の観光パンフレットや村紹介冊子を作成して、村を訪れようとしている人、村を訪れた人に配付することにより、野迫川村の観光PRを行い、観光客の増加、都市との交流等を図る。	2,680
		(2,680)
小中学生森林教室	本村は、面積の97%を森林が占める山村の村で、基幹産業は林業である。小中学生等の子供達に体験を通じて、森林の大切さや木の魅力等を知ってもらうために森林教室を開催する。	500
		(500)
総 計		502,509
		(456,409)
その他特記事項		